

## 卷頭言

## 未来を拓く数学教育

数学部会長 岩崎 章

平成 29 年 6 月に開催された千葉県高等学校教育研究会数学部会総会におきまして、三木千恵子先生の後任として部会長を務めることになりました千葉県立大網高等学校校長の岩崎章です。千葉県高等学校数学教育の発展に向け、少しでも貢献できるように、微力ではありますが、精一杯頑張りますので、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて、平成 28 年 3 月に高等学校教育改革・大学教育改革・大学入学者選抜改革の 3 つの柱で構成された高大接続システム改革会議の最終報告が示され、本年 7 月にその改革の進捗状況が公表されました。また、小・中学校の次期学習指導要領は平成 29 年 3 月 31 日に告示され、高等学校の次期学習指導要領は今年度中に告示されるといわれています。高度情報化社会を迎えた現在、AI(人工知能)に代表されるような今までに存在しなかった技術が予想をはるかに超えるスピードで進化し、産業構造や就業構造の質的变化も起こりつつあります。次期学習指導要領では、このような予測不可能な混とんとした未来社会を子どもたちが生き抜くために必要な資質・能力として、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱が示され、それらが偏りなく実現されるために、教育内容だけでなく「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の必要性も記載されるでしょう。

数学は自然科学や社会科学における多くの課題に対して、データを活用し、問題解決に向けて見通しを立て一般化することで、多くの人を納得させる解を導き、その根拠を端的に示すことなどに適した学問といえます。このような有用性の高い数学を次期学習指導要領の主旨を踏まえ指導するには、教員の指導力向上は重要なファクターといえます。その数学教育の発展に向け、今後も本部会の活動や研究を進めていきたいと思いをします。

数学部会誌「 $\alpha - \omega$ 」は昭和 39 年の創刊以来、数学教育全般にわたる啓発活動、先進的な研究や授業改善に向けた取組等を広く紹介し続け、今回第 55 号を発刊することができました。ご協力を頂いたたくさんの先生方にこの誌面をお借りして御礼申し上げます。また、本部会で一緒に研究したい先生方がいらっしゃいましたら事務局へご連絡いただきたいと思います。

最後になりますが、高等学校数学教育の一層の発展と本県数学指導を担う先生方のご活躍を心より祈念いたします。